

野口さんの映画を読んで

千葉宣嗣

野口さんの”生涯の友 映画”をプリントアウトし興味深く読ませて頂きました。

私も幼稚園に同級だった故坂田寛吾さん（松虫同期生東大卒）が新世界市場から通っていて漫画の田川水泡の”のらくろ”や”冒険ダン吉”他を沢山持っていて遠い乍らも読ませて貰いに遊びに行っていました。従って自然と新世界境界を彷徨する様に成り、以後ガキ大将を自認していた私は皆を引き連れ映画館のプロマイドを眺めて回り遅くまで帰らず連れて行った子の親御さんに叱られたもんでした。私が入学した国民学校（小学校）は今宮中学校（現今宮高校）の真裏に在り東側に南海本線の高架が通りそこが境界の様に成りそれを超えて遊びに行く事は厳禁の様に成っていて余り超え無かったのです。併し昭和18年正月16日の藪入りの夕方”通天閣が火事や”と言う声に高架超しに炎が良く見えたのです。

映画は昭和19年夏、集団疎開に行く前に市電の霞町車庫の隣に有った”松栄座”にて”海軍”を自前にて見たのが最初でした。昭和20年、敗戦後は以前に書いて居りました”新世界”にて詳しく記して居りますが、廃校に成った小学校が合併され、新世界近くの学校に通った為に縁が切れ無くなった様です。

一番早く開いた公楽座には友達に成った支配人の息子さんのお陰でタダ見によく行きました。

た。フランス 映画が最初でした。父が店を新世界に構えた手前、映画切符を良く頂き母に貰っていましたが両親が出かける事は殆ど無かった様です。

動物園入口に洋画専門の国際劇場が出来てジェイムス、ギャグニイのギャング映画にファンに成りました。小柄な身体に憎めない顔立ちに凄みを聞かせたギャングでした。

野口さんが挙げられている映画の殆どは私も勿論見て居りますが、映画館で見た最後はマーロンブランドのゴッドファーザー位にて最近はツタヤの CD のお世話に成って居ります。

唯、強烈に印象付けられている俳優にハンフリー、ポガードのカサブランカが有り白黒映画でしたが、ドイツ軍の華やか成りし頃にイングリッド、バクーマンと競演、帽子の良く似合う俳優でしたが奥さんが又人気女優のローレン、バコールだったと覚えています。

もう一人好きな俳優が有りました。且つてスパイ映画の 0 0 7 /ジェイムス、ボンド役だったショーンコネリーが晩年、ケビンコスナーが主演映画「アンタチャブル」に助演した老警官役の白髭姿はやはり今も私の脳裏から離れません。少し顔立ちが似ているので真似をして白髭を生やして見ましたが家内に汚らしいと言はれて名残惜しかったのですが剃ってしまいました。

最近では歳の生か人情物の時代劇が好きになり T V の鬼平犯科帳や藤田まことの老剣客時代

劇を楽しんでおります。先日も久々に黒沢映画、三船敏郎主演の DVD、七人の侍、用心棒、椿三十郎、等の他に古い三船の映画、野良犬を久々に見て気付いたのが、三船刑事が逃げる犯人を追い詰めて当時の後樂園球場の巨人戦野球試合をそのまま映していて、川上一塁手が捕球する所や藤本投手の投球姿が実写されていて懐かしく何度も戻しながら見ました。

昔に読んだ小説に”密謀”藤沢周平と言う作家の本を読んでその緻密さに感心した事が有りましたが、この作者の””三屋清左衛門日録”DVD がツタヤで見つけて見ました。この作者が何時も作りだす北国の小藩の物語ですが、私ども老齡者にとって起こり得る姿を見る思いがする作品ですが是非一覽される事をお勧め致します。